

質問事項		記述式回答
<p>経済再生と両立する財政健全化</p>		
1	<p>以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。</p> <p>①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革</p> <p>②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」</p>	<p>公的サービスの質の向上と効率化が難しいのは、公務員という縛りの中で、従来型の仕事のやり方、働き方を変えにくいことにあると考えています。</p> <p>PPP/PFIの実施は非常に重要ですが、従来の事業運営方法、人員体制、業務フローさらには職員の働き方をそのまま引き継いでも、短期間では、質の向上と歳出効率化を実現できません。サービス・機能だけではなく、従来とはまったく異なる「新しい組織」として、仕事の進め方、働き方も含めて、新しい事業を始めるぐらいの覚悟が必要ではないでしょうか。</p> <p>IT化ひとつをとっても、「過去の資料のデジタル化」から始めるのではなく、「今から作る資料をデジタル化」するスピード感をもって取り組むことが必要です。たとえば、市町村合併で距離の離れた支所が増える、移動経費等が多くかかっている中、支所間をTV会議等のICTで常時接続するだけで「離れていても1つの自治体」を実現できます。</p> <p>提案としては、公的サービスにおける個々のインクルージョンだけではなく、IT化と業務改革(BPR)、働き方改革を軸とした「公的サービスの運営改革の実施」自体を目的とした事業を、民間からの提案を受け、民間と共に実施してはどうでしょうか。モデルの構築ができれば、他の事業の効率化、また全国への横展開も可能となります。そして、民間企業はフロントランナー企業としてのメリットも得ることができます。</p>
2	<p>2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	<p>方針に関しては特に意見はありません。ただ、質問1に記載したように、国や自治体、企業の古い体制・働き方を変えていくことをベースにすることで、国全体の生産性の向上に寄与し、結果として財政健全化を実現できると思います。</p>